

先行審査プラントの記載との比較表（地盤の支持性能について）

	島根原子力発電所 2号機（以下、「島根2」という。）		先行プラントとの主な相違点・相違理由
	項目	項目の概要	
	目次		
	1. 概要		
	2. 基本方針		
	3. 評価対象施設周辺の地質等		
	3.1 評価対象施設周辺の地質		
	3.2 対象施設周辺の地質状況整理結果		
	3.3 敷地の地下水位分布及び耐震評価における地下水位設定方針		
	3.3.1 敷地の地下水位分布		
	(1) 敷地の水文環境	敷地の水文環境の概要を説明。	
	(2) 観測記録	施設近傍で実施している地下水位観測の概要について説明。	
	3.3.2 耐震評価における設計地下水位設定方針		
	(1) 設計揚圧力及び設計地下水位の設定方針	耐震評価における設計揚圧力及び設計地下水位の設定方針について説明。	
	(2) 浸透流解析を用いた設計揚圧力及び設計地下水位の設定方法	耐震評価における設計揚圧力及び設計地下水位を保守的に高く設定することを目的とした浸透流解析の手順及び設定フローについて説明。	
	(3) モデル化方針の設定	浸透流解析のモデル化について、再現解析と予測解析それぞれのモデル化方針を記載するとともに、解析に用いるデータの収集とその十分性、解析コードの選定及び対象施設の抽出について説明。	
	(4) 再現解析	解析モデルの妥当性を確認するための再現解析について、浸透流解析の概要と解析結果の妥当性について説明。	

今回説明範囲（補足説明資料（設計地下水位関連）の本文）

	島根原子力発電所 2号機 (以下、「島根2」という。)		先行プラントとの主な相違点・相違理由
	項目	項目の概要	
	(5) 予測解析	設計揚圧力及び設計地下水位を設定するための予測解析の概要と解析結果について示し、各施設の耐震評価における設計揚圧力及び設計地下水位の設定値について説明。	
	—	—	
	—	—	
	(6) 設計地下水位の保守性・妥当性の検証	屋外重要土木構造物等に適用する設計地下水位について、観測水位と解析水位の比較を行うことで、設計地下水位の保守性について説明。	
	(7) 水位が低い場合の影響確認	設計地下水位は保守的に高く設定しているが、平常時の地下水位は設計地下水位よりも低いことが想定されるため、設計地下水位より十分に低い地下水位を設定した場合の影響確認方針について説明。	
	(8) 設計地下水位の今後の検証計画など	運転段階における今後の地下水位観測計画と予測解析の妥当性確認の概要について説明。	
	(9) 参考文献	—	

	島根原子力発電所 2号機 (以下、「島根2」という。)		先行プラントとの主な相違点・相違理由
	項目	項目の概要	
	なし	—	
	なし	—	
	なし	—	
	参考資料 2-1 浸透流解析に用いる透水係数について	浸透流解析に用いる透水係数の設定方法の概要を説明。	
	なし	—	
	参考資料 7 地下水低下設備 (新設) について	地下水位低下設備 (既設) の配置, 構造及び仕様等について説明。	
	なし	—	
	なし	—	

	島根原子力発電所 2号機（以下、「島根2」という。）		先行プラントとの主な相違点・相違理由
	項目	項目の概要	
	なし	—	
	参考資料 8-2 土木構造物の設計地下水位の設定方法	土木構造物の設計地下水位の設定方法について説明。	
	参考資料 6 予測解析における降雨条件について	設計地下水位の設定に用いる予測解析において付与した降雨条件の保守性について説明。	
	なし	—	
	参考資料 1 浸透流解析に用いた解析コード「Dtransu-3D・EL」の適用性について	解析モデルの適用性について説明。	
	参考資料 2-2 浸透流解析に用いる有効間隙率について	浸透流解析に用いる有効間隙率の設定方法の概要を説明。	
	参考資料 4 非定常解析の降雨に対する感度向上についての取り組み	降雨時の解析水位の感度が観測水位と比較して小さい傾向が確認された再現解析（非定常解析）について、感度向上を目的とした検討内容を説明。	

	島根原子力発電所 2号機（以下、「島根2」という。）		先行プラントとの主な相違点・相違理由
	項目	項目の概要	
	<p>参考資料 5 地下水位観測記録について</p> <p>参考資料 8-1 1号機建物・構築物の地下水位について</p>	<p>設置変更許可審査時以降の地下水観測記録について説明。</p> <p>2号機評価対象施設への波及的影響を考慮する下位クラス施設のうち、建物・構築物での地下水位について説明。</p>	